

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 **マスタープラン**： **3つの挑戦** / **歴史文化** 施策番号 2-1 ・ 6-4 ・ 6-5 ・

局・課名： 文化観光局・学芸課

事業名	国際機関との連携事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
		6,130	4,347	4,151		
事業概要	【目的】 本市は百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録をめざすなか、平成23年に、国立文化財機構の1機関でユネスコが賛助するアジア太平洋無形文化遺産研究センター(IRCI)を誘致し、有形と無形の文化遺産の保護に向けた積極的かつ独自の取り組みを推進している。平成30年度も、従来の市民向け事業に加え、平成27年度から実施している東京でのシンポジウムを引き続き行い、国内外に情報発信することで、歴史文化を活かした堺市のプレゼンスの向上を図る。	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
			H ~ H			
		主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等	
		東京シンポジウム	2,291	2,105	謝金、旅費、印刷製本費、委託料等	
		無形文化遺産理解セミナー	515	550	平成24年度から年3回実施	
		無形文化遺産企画展・パネル展示	850	850	平成24年度から各年1回実施	
			691	646	旅費、消耗品費、筆耕翻訳料等	
	合計	4,347	4,151			
	【内容】 文化庁、国立文化財機構等との連携を図り、IRCIの有する研究者ネットワークと調査研究成果を活用した事業を、IRCIや大学、学術研究機関とともに実施する。 《事業案》 1 文化遺産の保護に関する東京シンポジウム(5月又は6月に東京国立博物館大講堂(300人)で国立文化財機構との共催、文化庁後援で実施予定) 2 無形文化遺産理解セミナー(年3回) 3 無形文化遺産企画展(年1回)(国立民族学博物館所蔵資料(主として、現物)等の展示) 4 無形文化遺産パネル展示の更新	スケジュール(経過及び今後展開)				
	【今年度要求のポイント】 歴史文化を活かした堺市独自の取り組みを通して首都圏での情報発信を図るために平成27年度から国立文化財機構との共催で実施している東京シンポジウムを開催するための予算を計上した。	【経過(～29年度)】 平成23年度にIRCI開設後、文化庁、国立文化財機構(IRCI)、国立民族学博物館等と普及事業を実施	【30年度】 文化庁、国立文化財機構(IRCI)、国立民族学博物館等と普及事業を実施	【今後予定(31年度～)】 文化庁、国立文化財機構(IRCI)、国立民族学博物館等と普及事業を実施		
	その他 特記事項 みんなの審査会対象外 東京で実施するシンポジウムは、有形・無形の文化遺産保護をテーマとすることから、世界文化遺産登録の推進的役割も担う。					